



手仕事を巡る、清澄白河 ~人と文化をつなぐ、工芸のまち~

「染物」・「畳」・「硝子」という3つの工芸を軸に、それぞれの魅力を活かした体験・展示施設をまちに点在させ、職人の技と未来へ繋ぐ手仕事を体験できる場を計画する。江戸の面影を留める町並みとアートやカフェ文化が交差する現代の表情を丁寧に読み解きながら、人と文化、そして時間をつなぐ新たな回遊の風景を描き出す。

計画背景

清澄白河には今も静かに手仕事の文化が息づいているが、実際に訪れてみると、その存在はまちに埋もれているように感じられた。そこで本計画では、手仕事の文化を再び日常の中に浮かび上がらせることを目的に、工芸の体験拠点を考える。また、自身のまち歩きを通して感じた清澄白河の魅力をもっと多くの人に伝えたいという思いから、3か所に拠点を設け、それらをきっかけにまちを巡ってもらおう構成とした。

私のまち歩きルート

スタート

清澄白河駅

ブルーボトルコーヒー
清澄白河
フラッグシップカフェ

深川資料館通り

ゴール

小名木川

計画内容

徒歩十五分圏内の範囲で「染物」「畳」「硝子」の工芸体験拠点を点在させる。

計画敷地

1 染物

【所在地】東京都江東区白河1-3
・高橋乗船場近くの駐車場

2 畳

【所在地】東京都江東区白河1-3-17
・深川江戸資料館近くの駐車場

3 硝子

【所在地】東京都江東区平野1-11-7
・ブルーボトルコーヒー近くの駐車場

プランニング

1 2

→パンフレットを片手にまち歩きを楽しんでもらえます。

清澄白河には魅力がたくさん。手仕事の体験をきっかけに、清澄白河のまち歩き、様々な魅力に出会ってほしい。